



学校を再開しました。

校長 鈿持 利行

はじめに、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日々、最前線に立ってご尽力されている医療関係者の方々、日常を支える業務に携わられているの方々などに感謝を申し上げます。高松中学校も、6月1日(月)に、約二ヶ月遅れではありましたが入学式を挙行し、104名の新入生を迎えることができました。これからも一定期間、新たなウイルスとともに社会で生きていかなければならないという認識に立ち、感染症予防策を講じながら、生徒の健やかな学びの保障との両立を図り、学校の「新しい日常」を定着させていくことが必要だと考えています。6月中は、分散登校となりますが、保護者の皆様、どうぞよろしくお願いたします。

入学式では、次のような話をさせていただきました。私は、この高松中学校が、「今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校」にしたいと、努力を続けていきます。そのためには、皆さん一人ひとりが「思いやりの心」を持つことが必要なことです。思いやりのあるやさしい人とは、相手の立場になってみることから始まります。これからの中学校生活を通して、人と人とのかかわりの大切さに気付いてもらいたいと願っています。人を尊敬する気持ち。大切にすることを仲良くしようとする気持ちが、なければ、本当の自立はありません。人は誰も希望や喜び、そして悩みをもって生活しています。いつも自分のことだけを考えるのではなく、他の人のことを考え行動できたらどんなに素晴らしいでしょう。そして、友だちが困っていたり悩んでいたら、声をかけ相談に乗ってほしいのです。友だちをつくり、互いに学び合い、助け合っていくところに真の友情が生まれます。中学校は、集団生活を通して守らなければならない約束ごとや、いろいろな考えがあること。人との接し方や、協力し合う知恵。責任の果たし方など、将来にわたって生活していく上で、大切なことを学ぶところです。この高松中学校で多くの体験をしてみてください。知識として知っていても、実際に経験・体験がないと、知識が知恵として働きません。中学校の勉強は自分から学ぶ。人と交わって学ぶ。さらに、体験して学ぶ。ことが大切なのです。

新入生に限らず、学校はいろいろなことに挑戦し、失敗や努力をくり返しなが、成長して

「感染症基本行動3か条」

- ✓ 「3つの密」を徹底的に回避する。
- ✓ 正しいタイミングと正しい方法で手洗いをする。
- ✓ 咳エチケットを徹底する。

「各自に必要な持ち物」

- ✓ 清潔なハンカチ・ティッシュ
- ✓ マスク
- ✓ マスクを置いたり、持ち運んだりするための布又はビニール袋



登校前に御協力いただきたいこと

- 登校前に検温
- 健康チェック (せきなどの風邪症状)
- マスクを着用して登校



保護者の皆様も一緒に健康観察をお願いします。本人やご家族が発熱や風邪の症状がある場合は、自宅で休養させてください。

いくところであると思います。我々大人は、小さな成果や成長であっても評価し褒めることや、たとえ失敗しても努力を認め励ますことなど、時宜を逸さないことが大切です。生徒がそれをバネに諦めずに、あるいは新たに意欲をもって頑張れるよう、ご家庭でも見守り支えていただければと思います。

今年度の入学式は、来賓の方々・在校生の参加ができませんでした。
今回、『新入生代表誓いの言葉』と『在校生歓迎の言葉』を掲載しました。

新入生代表誓いの言葉 1年 〇〇 〇〇



初夏のさわやかな風と正面玄関前の青くきれいに根付いた芝生が私たちの入学を祝ってくれているののように感じられます。本日は、校長先生はじめ、先生方、先輩方、私達新一年生のためにこのような素晴らしい式を挙げてくださりありがとうございます。今、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、昨年の小中交流会の部活体験のとき、先輩方が優しく楽しく説明をしてくださったり、教えてくださったりしたのを覚えています。その時私は、そのような先輩方と学び合い、充実した生活を高松中学校で送りたいと思いました。

私は、入学したら頑張りたいことや楽しみにしていることがいくつかあります。一つ目は、部活動です。同級生とはもちろんのこと、先輩方もうまくコミュニケーションをとりたいです。失敗してしまうこともあるかも知れませんが、互いに励まし合い、壁を乗り越えていきたいと思っています。そして、協力し合い、声をかけ、交流を深め、技術を高めていくのも楽しみの一つです。二つ目は、小学校よりも授業のスピードがはやくなる勉強です。授業のスピードがはやくなると、学習の内容が分からなくなり追いつけなくなる可能性があります。そのようにならないために、一つ一つの授業に集中し、家庭では予習と復習をしっかりとやりたいです。また、テストなどでは、問題に向き合い最後まで考え抜くことを意識していきます。三つ目は、友達関係です。新たな仲間と過ごす時間に今は、緊張を感じていますが、一緒に学び合う仲間と良い関係を築くために、相手の気持ちになって行動することを心がけたいです。信頼できる友達をつくり、どんなときでも相手を思いやる気持ちを忘れないでいたいと思います。四つ目は、行事です。合唱コンクールと運動会は、高松中学校の大きな行事です。私は、この二つの行事には共通点があると思います。それは、どちらも互いに教え合うということです。歌でも運動会でもある数人が上手なだけではうまくいきません。互いに教え合い全員の力が一つになるまで練習することが大切だと思います。

私達は今日から高松中学校の生徒です。うまくいかなかったり、失敗したりしたときには励まし合い、嬉しいときや成功したときは一緒に笑って喜べる、そんな仲間を目指し頑張ります。今年の二月から流行した新型コロナウイルスにより、世界規模で大変な事態となりました。このような状況の中ですが、今日、私達は中学生としての第一歩を踏み出すことができました。校長先生、先生方、先輩方、家族、地域の皆様、これからどうぞよろしく願いいたします。そして、私達新一年生百四名は思いやりと助け合いを大切にし、高松中学校の生徒として充実した中学校生活を送れるように努力していくことを、ここに誓います。

在校生歓迎の言葉 3年 〇〇 〇〇



高松の森の葉も一面若々しい青葉に彩られてきました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新型コロナウイルスの影響により学校が休校となり、先行きの見えない不安な日々が続いていましたが今日ようやく皆さんにお会いできたことを嬉しく思います。新たな気持ちを胸に新一年生になる皆さん、中学校生活三年間は長いようであっという間に過ぎてしまいます。その三年間を充実して過ごせるようにこれから三つのお話をします。

始めに、色々なことに興味や感心をもち、気になることを見つけたら積極的に取り組んでください。私は一年間、学年をまとめる学年委員に入っていました。この委員会に入るまで『学年をまとめる』ということをしたことのなかった私はクラスの前で話すこともうまくなく、失敗もしました。しかし、その失敗の数よりも応援してくれる仲間が増え、自分にとっても大きな自信につながりました。だから失敗を恐れずにたくさんの方に挑戦してください。また、そこから得たことを自分の中に吸収させ、次のステップアップにつなげてください。次に勉強のことについてです。中学校からは学習内容を理解できているか確かめる定期テストがあります。私は一年生の一学期の定期テストで納得のいくような点数がとれず、二学期に「毎日二時間勉強をする」と決めたことがあります。しかし、テストまで間があるとやらなかったり、テスト後は気が緩んだりし、毎日続けることはできませんでした。この経験から私は目標を立て計画的に勉強することが大切だと気付きました。目標とする点数を決めることで勉強への意識が変わり、目標を達成したときには、次の目標へのやる気につながりました。だから皆さんも目標を立て、その目標に向けて計画的に勉強をするようにしてください。

最後に高松を代表する二大行事、運動会と合唱コンクールには全力で取り組んでください。この二大行事は私たち生徒が学年の壁を越えて一丸となって作りあげていきます。中でも各色の一年生から三年生が一緒に行う運動会の応援ダンスでは、三年生が考えた振り付けを一、二年生に教えます。私はその応援練習のときに三年生が努力している姿や必死になって教えてくれる姿を見て、私たち一、二年生には越えられない三年生のすごさを実感しました。今年は皆さんにそのすごさを実感してもらえるように私たち三年生は歴代の先輩を越えるぐらい努力します。だから皆さん、それに応えられるように取り組んでください。

これで皆さんも高松中生への仲間入りです。私たち在校生は皆さんのことを応援し、サポートします。分からないこと、不安なことは相談してください。必ず力になります。楽しく充実した三年間を過ごしてください。